



生物多様性センターにおけるWeb-GIS技術を用いた情報提供について

大谷 知生、清水 彩香、滝澤 治
(環境省自然環境局生物多様性センター 情報システム科)

環境省自然環境局生物多様性センターでは、平成6年度以降、自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)の成果等の情報をウェブサイトから提供するために、生物多様性情報システム(J-IBIS: Japan Integrated Biodiversity Information System)を整備し、運用している。J-IBISでは、自然環境保全基礎調査の成果、絶滅危惧種に関する情報をはじめ、生物多様性や自然環境に関する総合データベースとして、その機能の充実を図っている。

平成22年度からは、Web-GISの技術を活用して、自然環境保全基礎調査の成果である植生図、特定植物群落、巨樹・巨木林、河川、海岸改変、湖沼、湿地、藻場、干潟、マングローブ等の情報を衛星画像に重ねて表示できるようにし自然環境情報GISとして情報提供を開始した。平成23年度には、国立公園の区域界、国指定鳥獣保護区の区域界についての情報も追加した。

生物多様性センターホームページ

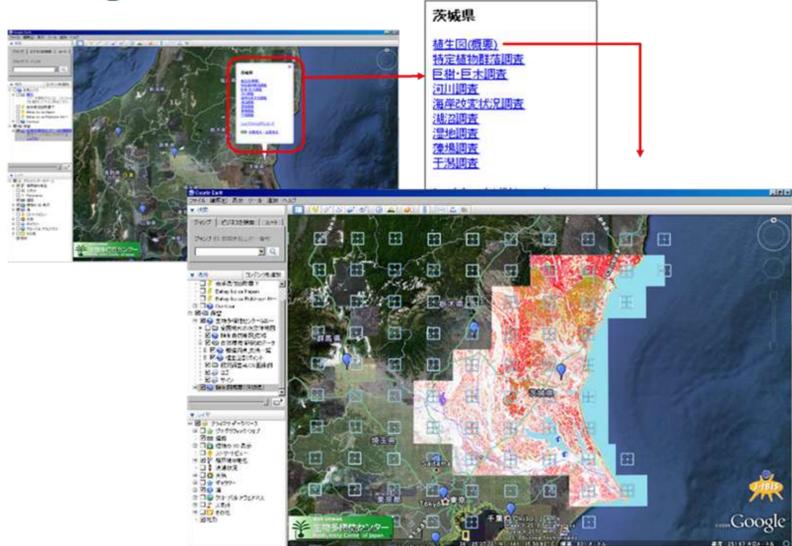


自然環境情報GISのHP

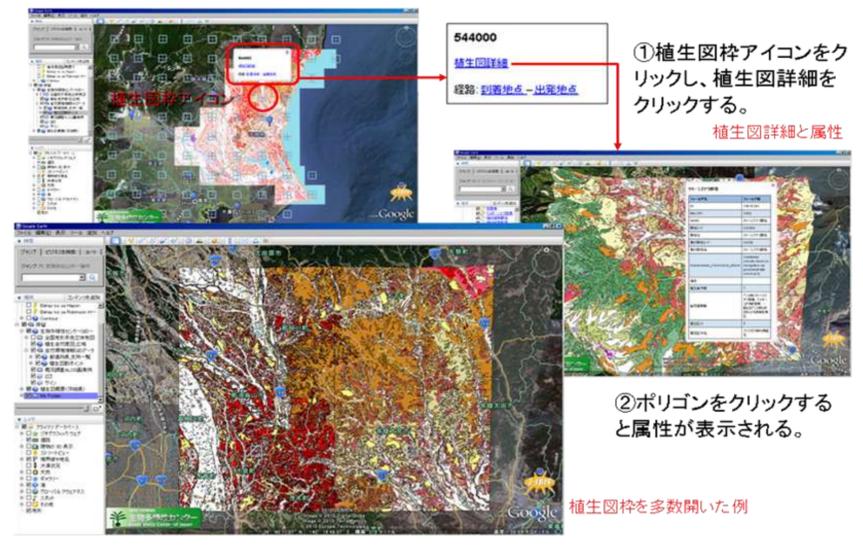


ズックちゃん

植生図表示画面(縮小画面)



植生図表示画面(拡大画面)



植生図表示画面(3D表示)



巨樹・巨木林



自然環境基礎調査の結果

植生調査(第2回~5回)、植生調査(第6回~)、特定植物群落調査、巨樹・巨木調査
河川調査、海岸改変状況調査、湖沼調査、湿地調査、藻場調査、干潟調査、サンゴ礁調査

国立公園・国指定鳥獣保護区区域等

国立公園
国指定鳥獣保護区